

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |               |
|---------|----------------|------------|---------------|
| 事業所番号   | 2091400065     |            |               |
| 法人名     | 社会福祉法人誠心会      |            |               |
| 事業所名    | グループホームアイリス茅野  |            |               |
| 所在地     | 長野県茅野市宮川5778-1 |            |               |
| 自己評価作成日 | 平成 27年 3月 14日  | 評価結果市町村受理日 | 平成 27年 5月 19日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kaigo.nsyakyo.or.jp/index.php">http://kaigo.nsyakyo.or.jp/index.php</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |               |
|-------|---------------|
| 評価機関名 | コスモプランニング有限会社 |
| 所在地   | 長野市松岡1丁目35番5号 |
| 訪問調査日 | 平成 27年 3月 20日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・「ここにあるのは私の暮らし」お年寄り自身を主語として「私は～したい」を実現できるよう努めています  
 ・快適に暮らすにはハード面も大切と考えます。「風の通る家」「四季を感じられる家」にしたいと思い、デイルームからは季節ごとの山の彩の変化を、浴室からも八ヶ岳が見える等、そこにいるだけでくつろげる雰囲気になりました。特に入浴中の言葉からは「鳥が飛んでるね」「空がきれいだね」とくつろいでいる様子がうかがえます。  
 ・旅館に行けば自分の部屋にトイレがあるのは当たり前、ましてや毎日生活している場のこととなれば、落ち着いて排泄するために自分の部屋にトイレはあって当然です。お年寄りの生活の場＝将来の自分の生活の場と考えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道20号線茅野信号の目の前に平成26年4月に開設した複合福祉施設がある。シックな3階建の外観は施設と言うより日本旅館の雰囲気がある。1階には小規模特別養護老人ホーム1ユニットと小規模多機能型居宅介護、2階は2ユニットの特別養護老人ホーム、3階にグループホーム2ユニットがある。各施設には八ヶ岳の峯々の名前が付いている。3施設合同の運営推進会議では住民と施設が災害のみならずお互いに協力し合うことが話し合われており、地域防災協定が近いうちに具体化されそうである。職員は介護経験者や他業界から様々な経歴の方の集まりであるが研修等を通して人権意識の向上や知識、技術の向上を図り職員の足並みが揃い始め、質の高い個別の支援につながりつつある。平均介護度2.4、平均年齢88歳、90歳以上の利用者が10名いる。事業所の理念「さわやかな笑顔であたたかな言葉で自分らしく生きる事を支えます」を実践する職員と18名(男性7名、女性11名)の利用者が穏やかに暮らしている。間もなく開設満一年を迎えるホームは利用者や地域に対する思い入れも深く計り知れない。今後の成長が楽しみである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印  |
|---|--|--|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)             | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)                   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)                  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている(参考項目:30,31)         | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                               | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |  |  |